

# ひょうご農業法人 ガイドブック

私たち、

**農業**

でやりがいを

見つけました！



2026

(公社)ひょうご農林機構・兵庫県農林水産部

# 家業から企業へ、農業の新しいカタチ

企業として農業を営む「農業法人」。家業として受け継がれてきた農業を法人化したり、企業が他産業から農業に参入するなど、さまざまなケースでの農業法人が増えています。

企業経営において、経営方法や働き方などが大幅に見直される中、多様な人がともに働く職場として、農業法人が注目されています。

この冊子では兵庫県内で農業経営の発展に取り組んでいる農業法人の一部を紹介します。

## 目次

このエリア分けは、農業改良普及センターごとの所管区域で分かれています

神戸	畜産	神戸市西区	農事組合法人うすなが農畜産組合	3
	土地利用	神戸市西区	株式会社近藤農産	4
	野菜	神戸市西区	中野ファーム 株式会社リアルエステート中野	5
	畜産	神戸市西区	有限会社べこ	6
	野菜	神戸市西区	特定非営利活動法人 わだち	7
阪神	野菜	宝塚市	株式会社王珠	8
	野菜	三田市	株式会社おおにし農園	9
加古川	野菜	明石市	橋本農園株式会社	10
	土地利用	加古川市	株式会社八幡営農	11
	野菜	加古川市	株式会社LEAD	12
	野菜	播磨町	兵神機械工業株式会社 兵神ファーム	13
加西	畜産	小野市	有限会社ジローズデイルーファーム	14
	土地利用	加西市	農事組合法人あぐりーど玉野	15
	土地利用	加西市	株式会社中塚農園	16
	土地利用	加東市	株式会社玄米家	17
	畜産	多可町	株式会社箸荷牧場	18
姫路	土地利用(受託)	姫路市	株式会社グリーンひょうご西	19
	工芸作物	姫路市	株式会社香寺ハーブ・ガーデン	20
	野菜	姫路市	児島園芸有限会社	21
	畜産	姫路市	株式会社東原畜産	22
	畜産	姫路市	有限会社藤橋家姫路夢前農園	23
	複合	姫路市	有限会社夢前夢工房	24
	土地利用	市川町	有限会社環境微生物研究所	25
光都	きのこ	相生市	深山農園株式会社	26
	畜産	赤穂市	株式会社デイルーエッグ	27
	畜産	赤穂市	株式会社丸尾牧場	28
	花き	赤穂市	有限会社米口グリーンナーセリー	29
	畜産	上郡町	株式会社N.G.C	30
	畜産	上郡町	株式会社山上畜産	31
	畜産	上郡町	有限会社レイ	32
	土地利用	佐用町	株式会社みかづきe	33
	土地利用	佐用町	株式会社山本営農	34

## 龍野

野菜	たつの市	株式会社ささ営農	35
土地利用	たつの市	株式会社J McCoy	36
野菜	たつの市	株式会社博農	37
畜産	たつの市	有限会社藤橋家ひよこファーム	38
土地利用	たつの市	株式会社フジ工房 新千農園	39
土地利用	宍粟市	一般財団法人宍粟北みどり農林公社	40

## 豊岡

土地利用	豊岡市	有限会社あした	41
土地利用	豊岡市	有限会社植田農園	42
土地利用	豊岡市	有限会社グリーンいずし	43
野菜	豊岡市	株式会社Teams	44
土地利用	豊岡市	中谷農事組合法人	45

## 新温泉

畜産	香美町	株式会社上田畜産	46
畜産	新温泉町	株式会社但馬中井畜産	47
土地利用	新温泉町	株式会社湯村温泉愛宕山観光	48

## 朝来

野菜	養父市	有限会社アグリハイランド金谷	49
土地利用	養父市	株式会社Amnak	50
野菜	養父市	株式会社トヨー養父農業生産法人	51

## 丹波

土地利用	丹波篠山市	株式会社アグリヘルシーファーム	52
土地利用	丹波篠山市	株式会社丹波篠山大内農場	53
土地利用	丹波篠山市	株式会社丹波篠山岸本農場	54
土地利用	丹波篠山市	農事組合法人丹波たぶち農場	55
畜産	丹波市	株式会社芦田ポートリー	56
畜産	丹波市	有限会社井寄牧場	57
工芸作物	丹波市	有限会社こやま園	58
野菜	丹波市	株式会社竹岡農園	59
畜産	丹波市	有限会社たまごの郷	60
土地利用	丹波市	株式会社丹波たかみ農場	61
野菜	丹波市	農地所有適格法人 丹波リーフ株式会社	62
土地利用	丹波市	ひょうたん農場株式会社	63
土地利用	丹波市	有限会社まるさん農林	64

## 南淡路

畜産	洲本市	SDF株式会社	65
野菜	洲本市	有限会社新家青果	66
野菜	南あわじ市	株式会社A&H	67
野菜	南あわじ市	2525ファーム 淡路島希望食品有限会社	68
野菜	南あわじ市	有限会社三田青果	69

## 北淡路

野菜	淡路市	株式会社淡路の島菜園	70
野菜	淡路市	株式会社池上農場	71
花き	淡路市	株式会社金岡光輝園	72
畜産	淡路市	農事組合法人北淡路肉用牛生産組合	73
野菜	淡路市	株式会社K.ファーム	74
野菜	淡路市	株式会社フレッシュグループ	75

### まずは、就農支援センターに相談を

兵庫県では、ひょうご就農支援センターと13地域就農支援センターで就農支援ネットワークを構成し、「農業を始めたい」と希望される皆さんからの相談に応じています。

多くの農業法人では、社会保険制度や勤務時間・休日などの就業規則、独立就農支援など雇用環境の充実に取り組んでいます。インターンシップなどの研修制度がある法人もあります。気になる農業法人が見つかったら、ひょうご就農支援センターや各地域の就農支援センター(P76参照)にまずは相談してみてください。





神戸市西区

# 農事組合法人うすなが農畜産組合



グループ会社が経営している焼肉店 (神戸牛WASSIA)



岩岡繁殖農場で生まれた子牛

## 事業内容

但馬牛の生産・肥育請負、農産物の生産・販売、牧草(稲わら)の生産・販売

## おもな産品

但馬牛、米、牧草(稲わら)



## こだわりPOINT

耕畜連携を実践しており、畜産で出た堆肥を稲作の肥料とし、稲作で出た牧草(稲わら)で牛を育てています。



神出肥育農場では肥育請負も含め常時160頭を肥育

## Staff Interview

碓永 芳輝さん(写真左)

2018年に入社、牧場統括責任者として全ての牛の管理を任されています。神出肥育農場は将来的には独立したいという牛飼いが集まって、力を発揮できる場にしたいと考えています。例えば自分の牛を何頭か持ち、この中で場所を借り、それぞれの牛を肥育するのです。牛飼いは独立するには経済面などでハードルが高いので、神出肥育農場を整備して、新しい形の牧場を目指しています。

## 神戸生まれ神戸育ちの神戸ビーフ “純但馬うすなが牛”

## 機械化、マニュアル化して効率良く但馬牛を生産

2018年に法人化した「うすなが農畜産組合」は、2019年には肥育を行う「神戸うすなが牧場神出肥育農場」をスタートさせ、繁殖から肥育までの一貫生産に。稲作も行い、耕畜連携を実践。グループ会社に焼肉店、商社を設立しており、牛肉の生産から販売までを一貫して手掛け、海外輸出も視野に入れています。「マニュアル通りにすれば、誰でも同じような神戸ビーフを作れるようにしたい」と、牛の管理は機械化・マニュアル化して効率アップ。神戸ビーフの中でも自社ブランド「純但馬うすなが牛」として、差別化を狙います。

## DATA

### 所在地

(神戸うすなが牧場岩岡繁殖農場)  
〒651-2404 神戸市西区岩岡町古郷887  
(神戸うすなが牧場神出肥育農場)  
〒651-2304 神戸市西区小束野16

### TEL&FAX

078-959-8638

### H P

<https://kobe-usunaga.com>

### 設立

2018年9月

### 従業員数

社員1人、パート2人



## Top Message

### 一人一人の牛飼いの夢が実現する職場に

これからは儲かる企業として、畜産のイメージを覆し、普通の企業と同じような雇用環境を実現したいと思っています。すでに焼き肉店や商社などの6次産業化の展開も始めています。将来自分で牛を持ちたいと独立意欲のある人や、志の高い人、一緒に働きましょう。専門的に畜産の勉強をしていない人も歓迎します。



代表理事  
碓永 嘉彦さん



神戸市西区

# 株式会社近藤農産



## Staff Interview

平田 新二さん

当社でのアルバイトを経て2016年正社員へ。主に精米を担当しています。食味を上げるため、種類によって糠層を除去する厚みを変えています。人間関係が良好で楽しく働いています。

### DATA

所在地 〒651-2321  
神戸市西区神出町宝勢1354

T E L 078-964-3453

F A X 078-965-0434

H P <https://www.agri-kondo365.co.jp/>

設立 2006年

従業員数 社員2人、パート3人、関連会社業務委託3人



### 事業内容

水稻栽培、米穀販売、農作業受託、ライスセンター

### おもな作物

コシヒカリ(特別栽培米)、キヌヒカリ、ヒノヒカリ、もち米など合わせて150tを個人消費者、スーパー、事業所食堂、米穀集荷業者等へ出荷しています。



### わたしたちの思い

自然環境に配慮した農産物を生産し「食の安全・安心」を皆様に提供します。また「安定」して生産物をずっと供給し続けることが社会貢献につながると思っています。



### こだわりPOINT

環境保全型農業を目指し、  
①地力増進②化学肥料低減③農薬残留検査の実施  
④色彩選別機による異物除去⑤米トレーサビリティ法による情報公開⑥品質分析技術の導入に取り組んでいます。



## 地球にやさしい環境保全型農業 安全安心な栽培米を笑顔と共に提供

「株式会社近藤農産」は、神戸市の農業振興地である神出町で、100年前から農業を営んでいます。現在は、水稻30haの生産販売と約200haの作業受託、そして水稻苗250haを提供しています。近藤良典代表は温暖化防止への意識が高く、2011年環境保全型農業によるコシヒカリの作付けを開始。その方法は社員食堂や病院、レストラン、スーパーから排出された生ごみを堆肥化し、その堆肥を施した豊かなほ場で水稻を栽培、収穫した米をスーパー等に納品するという循環で、環境にやさしい農業に取り組んでいます。エコファーマー、ひょうご安心ブランドにも認定され、同社を応援する企業や消費者は増える一方で。

## Top Message

農業の魅力を発信してくれる人材を求めています

作業受託による水田耕作面積の増加により、経営規模拡大を図っています。栽培はもちろんですが、ITシステムを担当できる人材を求めています。仕事を任せるのが我が社流。福利厚生を整えて待っています。



代表取締役  
近藤 良典さん



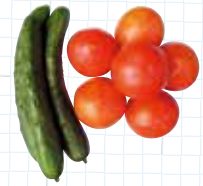
神戸市西区

# 中野ファーム 株式会社リアルエステート中野



## 事業内容

野菜・米の生産・販売



## おもな作物

トマトと青ねぎは通年栽培。ほかに季節野菜(きゅうり、なす、ほうれんそうなど)、食用米約7tを主にスーパーや野菜直売所、JAに出荷。

## わたしたちの思い

消費者に安全・安心なものをお届けするのは当たり前。当社では「新鮮なもの」を、年間を通じて「安定して」提供することを心がけています。

## こだわりPOINT

最新技術は積極的に取り入れ、社員にどんどん技術を磨いてもらっています。若手が中心にがんばる明るい職場から「良い作物」が生まれるものと信じています。



## 環境制御型ハウスと利便性の高い立地を生かし 付加価値のある野菜を安定供給

神戸市営地下鉄名谷駅から北へ約3km。交通の利便性が高い山あい「中野ファーム」はあります。当初3棟からはじまったトマト栽培用ビニールハウスは現在では20棟規模に。環境制御型コンピューターを導入し高床式の養液土耕栽培でトマトを生産しています。同社がある布施畑地区のほか、神戸市西区「平野」や「前開」地区では遊休農地を預かり、食用米や季節野菜を栽培。都心に近いので物流の便が良く、「新鮮」という付加価値がある中野ファームの「太山寺トマト」は、地域の消費者の人気ブランドに育っています。

### DATA

所在地 〒651-2101  
神戸市西区伊川谷町布施畑578

TEL 078-940-9127

FAX 078-940-9128

設立 2005年

従業員数 社員2人、パート6人

## Top Message

若手が中心となる職場づくりを目指しています

技術を磨いて将来を担ってほしい

私自身も異業種から農業経営に転じた一人なので、農業の苦勞も喜びも身をもって体験してきました。いい商品はいい職場環境から生まれると考えています。若手にはどんどん技術を磨いて当社の将来を担ってほしいと思います。体験実習生も歓迎します。



専務取締役  
中野 邦彦さん



神戸市西区

# 有限会社べこ



### 事業内容

交雑種、但馬牛、県外和牛、ホルスタインの肥育、販売、牛ふん堆肥販売

### おもな産品

枝肉、牛ふん堆肥



### こだわりPOINT

発酵飼料を多く給与することで健康的に育ち、風味とうまみのある霜降り牛肉を提供しています。



おがくずを敷料にした飼育牛舎

## Staff Interview

### 安福 稜介さん(中段写真右)

日々の業務は肥育牛と繁殖牛の飼養管理、乳用牛の搾乳、子牛の哺育等を行っています。現職までの経験から、餌メニューの設計など責任ある仕事も任されており、やりがいを感じています。今年度は兵庫県乳牛共進会で名誉賞、全日本ホルスタイン共進会に出品ができました。

### 森 康太郎さん(上段写真左から2人目)

初めて畜産業界に入り、わからないことが多く、安福場長にたくさんのことを教わり日々勉強しています。現在担当している哺育以外の色々な仕事も経験し、社長や牧場長のように信頼されるスタッフになれるよう頑張っていきます。

## 交雑種・但馬牛・県外和牛など280頭を飼育 まろやかで風味とうまみのある霜降り肉に

先代から牧場を引き継ぎ8年、20代の牧場長からシニア世代までのスタッフを含め5名で牧場を切り盛りしています。新たな取組として、酪農家で和牛のET生産した子牛を導入し、哺育も始めました。また、自家保留している但馬牛の採卵を行い、酪農家に供給しています。牧場では生後すぐのスマールから2歳くらいの肥育牛や母牛まで、多種類の牛を飼育。スタッフは年齢や経歴・得意分野の幅が広く、すべての面で多様性がある牧場だと自負しています。

### DATA

所在地 〒651-2312  
神戸市西区神出町南619-6  
TEL 090-1142-9895  
FAX 078-965-2508  
HP <https://bekofarm.jp>  
設立 1990年11月  
従業員数 3~4人



## Top Message

### 愛情をもって牛さんとスタッフに対応

牛さんがリラックスして過ごせる快適な牛舎環境とスタッフが意欲的に活躍できる職場環境・待遇を整えることが私の責務だと考えています。牧場はスタッフがいてこそできる仕事。ワークライフバランスを大切にするので牧場がより良く発展していくものと日頃から心がけています。スタッフ一丸となって牛に愛情をたっぷりかけることで、安全・安心な牛肉が提供できると考えています。



代表取締役  
村上 剛史さん



神戸市西区

# 特定非営利活動法人 わだち



## 事業内容

福祉事業(児童デイサービス・在宅支援など)、いちご栽培(就労継続支援B型事業)

## おもな作物

「出荷名/わだちファーム」で、「章姫(あきひめ)」「おいCベリー」などのいちごを年間約13t生産。ホームセンターや野菜直売店へ出荷するほか直売所ではジャム加工して販売も行っています。

## わたしたちの思い

いちご栽培は当たり前のことを当たり前に行い、いいものをつくり続ければお客様はついてきてくれます。「いちごの産地伊川谷にあり」と言われるようにがんばっています。

## こだわりPOINT

ビニールハウス内に、いちご高設栽培システムを導入。水やりや施肥を機械で自動化し、立ったまま作業できるので、就労支援事業で参加する人たちの身体負担を軽減しています。

## 農業が人間にもたらす療育効果に着目 福祉と農業で障がい者を幅広く サポートしています

「NPO法人わだち」は、「障がいを持つ子どもたちに安心して過ごせる場を提供し、将来的自立へ向けた療育を行うことで充実した生活を送ってほしい」という思いから2007年に設立。福祉でできることの可能性を広げるため、農業に取り組む福祉事業所がまだほとんどなかった2013年、太山寺周辺(神戸市西区伊川谷町)でいちごのハウス栽培をスタートさせました。同ハウスでは就労支援を目的に、障がいを持つ児童も短期で農作業を体験。保護者からは「気持ちや行動が穏やかになりました」など、“農業セラピー”の効果が生まれています。

### DATA

所在地 〒651-2116  
神戸市西区南別府1-21-1  
HP <https://npo-wadati.jp/>  
設立 2007年  
従業員数 職員3人、  
パート3人(就労継続支援B型事業部門)



### Top Message

**障がいの有無にかかわらず、農業を通じて  
その人が輝いて過ごせる場を提供したい**

仕事は楽しくないと続かないものです。スタッフが楽しく仕事することで福祉のサービスを受ける人たちにも笑顔が生まれます。いちごは子どもも目を輝かせて食べてくれます。「伊川谷のいちご」を大きく育てていくために、私たちと一緒に取り組んでいきましょう。



理事長  
光武 茂さん



宝塚市

# 株式会社 王珠



## 事業内容

野菜の生産、販売



## おもな作物

トマト、きゅうり、なすの果菜類を中心に、葉物類、根菜類など多種多様な野菜を栽培しています。

## わたしたちの思い

土づくりと鮮度にこだわり、新鮮な野菜を収穫して、新鮮なうちに消費者に届けたいと思っています。

## こだわりPOINT

健康な土づくりをしっかりとしていきたい。化学農薬は極力使用せず、有機肥料を主体にした微生物農法で、味がしっかりとした野菜づくりを行っています。



## Staff Interview

中西 瞳さん(写真左)

実家が養父市大屋町で造園業を営んでおり、東京農業大学で造園を学びました。結婚後、2009年から西谷で就農しました。出荷調整、管理作業、事務などが主な仕事です。造園も農業も自然の生物が相手。好きな生物に関わることが楽しいです。2人の娘には田植えや稲刈りなど農業体験をさせ、通園・通学の途中には動物や花の名前を教えます。自然の中で仕事や子育てができるのはすばらしいです。

## 土づくりをしっかりとして継続できる農業 都市近郊の強みを生かした野菜づくり

宝塚市の北部、西谷地区で野菜づくりを行う「王珠(おうじゅ)」。代表取締役・中西健二さんと瞳さん夫妻が、2009年にこの地に移住し、同年法人化。永続的に野菜づくりができるように、有機肥料を主体にした健康な土づくりにこだわります。西谷地区に点在する畑180aと14棟のハウスで、果菜類を中心に葉物類、根菜類と多種多様な野菜を栽培。「一果入魂」をモットーに、こだわり農法に加え、昼夜の温度差が激しい気候を生かして、味の濃い野菜をつくります。都市近郊の立地を強みに、直売所や近隣スーパーの店頭で24時間以内に並ぶよう出荷し、新鮮なうちに消費者に届けます。

### DATA

所在地 〒669-1211  
宝塚市大原野字塩ヶ平8-1  
TEL&FAX 0797-91-0910  
HP <https://nakanishi-ouju.com>  
設立 2009年  
従業員数 1名、パート6名



## Top Message

### 後継者の育成・指導・援助にも尽力 宝塚市新規就農者確保事業の技術指導も

実家は阪神間で農家を営んでいます。農業者大学を卒業後就農しました。子育てしながら農業ができる環境づくりが大切で、若手農業者を増やすことは、地域活性化につながります。地域での青年農業者との活動を活発にし、後継者の育成・指導・援助にも力を尽くしたいと思っています。宝塚市新規就農者確保事業では、就農者に対して技術指導を行っています。

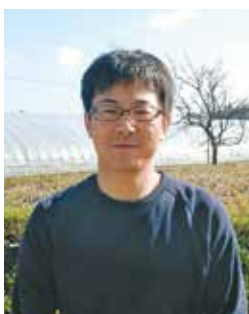


代表取締役  
中西 健二さん



三田市

# 株式会社おおにし農園



## Staff Interview

徳毛 小春さん(写真左)

中学のトライアルウィークで農業を体験し、“楽しいな”と感動。就農を目指し、兵庫県立有馬高校から兵庫県立農業大学校に進み、その後、研修中です。自分の畑を持つのが夢です。

佐藤 文博さん(写真右)

宮城県出身で、アパレル系サラリーマンから、2016年ごろから農業へ転身の準備を始めました。2018年10月からおおにし農園で、農の雇用事業を利用してお世話になっています。

## 寒暖差の大きな気候と豊かな土壌 採れたてのおいしい野菜を提供

大阪からJRで約40分、1980年代から北摂三田ニュータウンの開発が進んだ三田市に「おおにし農園」があります。2010年、代表の大西則和さんは退職を機に、息子の昭宏さん(2013年度兵庫県青年農業士に認定)とともに専業農家に。2015年、「株式会社おおにし農園」として法人を設立しました。ハウスも2棟から6棟に増やし、規模を拡大。寒暖差の大きな気候と豊かな土壌を生かして、三田米をはじめ、ハウスで多品目の野菜を、露地では三田名産の黒大豆やうどを栽培。イタリアン・フレンチレストランに西洋野菜を供給し、レストランとの繋がりも広がっています。

### 事業内容

農作物の生産、販売、  
加工品販売



### おもな作物

米はどんとこい、ヒノヒカリ、コシヒカリ、香り米の4品種。野菜は旬を大切に、四季それぞれにできる野菜を数多く作っています。三田特産の黒大豆・うども栽培しています。

### わたしたちの思い

おいしく食べてもらえるよう、丹精込めて米や野菜を作り、農薬をできるだけ使わずに、安心・安全な野菜を届けています。野菜を通じたコミュニケーションを大切にしています。

### こだわりPOINT

米をはじめ、季節ごとの野菜を多品種栽培しています。採れたての野菜を味わっていただきたいので、農園での販売や、東京など消費者への宅配にも対応しています。



### DATA

所在地	〒669-1543 三田市下深田475
TEL	090-5900-9007
FAX	079-562-4136
HP	<a href="https://www.onishi-farm.com/">https://www.onishi-farm.com/</a>
設立	2015年
従業員数	6人



## Top Message

下深田はうどの発祥の地  
三田産野菜を広めていきたい

おおにし農園がある「下深田」はうどの発祥の地で、かつては12軒の農家がありました。高齢化でほとんどの農家が辞めてしまいました。うどをはじめ、三田産の野菜を広めていき、「三田」をアピールしたいと思っています。



代表  
大西 則和さん



明石市

# 橋本農園株式会社



「おいこベリー」など、大粒のいちごが大人気



12月～5月、週3日限定で自社直売所を開設

## 事業内容

いちご、野菜類の栽培および販売

## おもな作物

いちご(おいこベリー、章姫(あきひめ)、紅ほっぺ、星のきらめき、やよい姫) キャベツ、ブロッコリー、レタス、スイートコーン、枝豆などの野菜



## こだわりPOINT

60年の歴史を持つ「清水いちご」は品質の良さから天皇陛下に献上したことも。暖房などを使わない自然に近い状態の土耕栽培にこだわり、「完熟」のおいしさを提供しています。



なだらかな丘陵地帯にハウス20棟を配置

## Staff Interview

松本 竜一さん(写真左)

スイートコーン、ブロッコリー、キャベツ、枝豆などの定植から出荷まで、露地野菜の部門を任されており、会社に貢献できるよう頑張っています。

## 土耕栽培や出荷時期にこだわり「清水いちご」を名ブランドに育て上げ躍進

清水地区の日照時間の長さや良質な地下水を活かし、祖父の代に始まった「橋本農園」のいちご栽培。昭和30年代、兵庫県生まれの品種「宝交早生(ほうこうわせ)」に“山上げ栽培”を導入、もともと春出荷だった収穫時期を2月頃に早めることに成功しました。その後も改良を重ね、国内で初めてクリスマス用いちごの出荷を可能にしました。土からの栄養分を吸収させるハウスの土耕栽培にこだわり、完熟させたものだけを出荷するいちごは大粒で甘みが強く、味に深みがあると評判です。自社直売所や地元周辺のJ A直売所でしか手に入らない「清水いちご」は、人気ブランドとしてその価値をますます高めています。

## DATA

所在地 〒674-0074 明石市魚住町清水1319  
TEL 090-9055-0415  
FAX 078-942-2432  
HP <https://www.instagram.com/hashimoto15farm/>  
設立 2015年8月  
従業員数 社員1人、パート6人



## Top Message

一番おいしい時に消費者に届けることを大切に

私たちがつくる「清水いちご」は、一般的なハウス栽培に比べて倍の労力がかかりますが、「新鮮でおいしいものを食べてもらう」ことが生産者として最も大切だと考えています。作物はJ A直売所を中心に「個選出荷」に切り替え、新鮮さと収益増につなげています。農業において仕事の成果はすぐには出ません。あきらめず、意欲のある人材を求めます。一緒に「清水いちご」をさらに発展させていきましょう。



代表取締役  
橋本 竜介さん



加古川市

# 株式会社八幡営農



八幡町に広がる耕作地



地元小学校へ出前授業



## Staff Interview

中部 敏弘さん

市や普及センターで情報収集し2015年入職。年間作付計画やさまざまな現場作業を担当しています。害虫による病気を防止するとともに、肥料を効率よく作物に行き渡らせるため、雑草の除去を工夫しています。作物の収穫量をもっと増やし、加古川パスタを超える新ブランドを開発していきたいです。

### DATA

所在地 〒675-1206  
加古川市八幡町船町16

TEL 079-438-3950

FAX 079-438-3952

HP <https://yahataeinoukumiai.com/>

設立 2005年

従業員数 社員8人、パート16人



### 事業内容

米、麦、大豆、そばの生産、加工販売業

### おもな作物・加工品

水稲80ha、麦61ha、大豆27haを栽培。これらの自社農産物から、加古川パスタ・お茶（黒豆茶、そば茶等）・豆腐・厚揚げ・コレステロールゼロの豆乳ドレッシングなど、体にやさしい商品を販売。農業の力で食卓へ笑顔を広げています。

### わたしたちの思い

若い世代からベテランまで、農業に携わる人の努力がきちんと報われるように。最先端のスマート農業を活用し、地元の土地に合った、持続可能で誇れる農業を目指しています。



### こだわりPOINT

「日本のパスタは、ここから変わる!」…このキャッチフレーズのもと、日本初のパスタ用デュラム小麦「セトデュール」栽培を柱に据えた栽培体系を確立。国産デュラム小麦の未来づくりに本気で取り組んでいます。



## 「加古川パスタ」などヒット商品を続出 八幡町の農地担い手集団

JR加古川線・厄神駅から徒歩10分。JA直売所「ふぁーみんSHOP八幡」隣に位置する「株式会社八幡営農」。耕作面積175haを誇る、県内最大級の営農法人です。2005年の営農組合設立当初から米・麦・大豆・そばなどを栽培し、自社生産の農作物を安全・安心な食品へ加工して販売する「6次産業化」に積極的に取り組んでいます。

なかでも、パスタ用デュラム小麦「セトデュール」の栽培に日本で初めて成功し、100%国産小麦で作る「加古川パスタ」は、もちもち食感で全国から高い評価を獲得しています。

## Top Message

### 早くから6次産業に着手し 「儲かる農業」を実践

八幡営農は、スマート農業機械の導入や専門ドローン法人との業務提携、地元の営農お助け隊の協力を得ながら、地域に適した効率的な農業を追求しています。女性の方にも安心して働いていただける環境づくりも進めています。



代表取締役  
前田 祥道さん



加古川市

# 株式会社LEAD(リード)



2021年からスタートした「サイエンスふぁーむ」子どもと一緒に野菜の栽培、収穫体験ができます

## 事業内容

野菜の生産・販売、教育ファーム運営

## おもな作物

1年を通じて、こまつな、水菜、ルッコラ、ほうれんそうを生産。加工卸業者や個別宅配業者、ホテル、スーパー等へ出荷。

## わたしたちの思い

「農業は食を育み、健康で元気な人をつくる糧となる」という思いを原点に、地域の食を育てているという自覚、人とのつながり、地産地消を大切にしています。

## こだわりPOINT

葉物野菜はシャキッとした鮮度が味にも影響します。究極の鮮度感で出荷できるように、作物の様子を毎日丁寧に観察し、肥料や水やりのタイミングも工夫しています。



## 農作物が持つ本来の生命力を大切に 地域で愛される葉物野菜を栽培

東播磨地域の加古川市に5棟、稲美町に15棟のビニールハウスを設置し、葉物野菜を生産する株式会社LEAD。順調な経営を可能にしているのは、24歳で祖父の畑を継ぐことになった都倉貴博代表の、人とのつながりを大切にしながら農業の経験、知識を深めていった「人間力」です。自社作物は「地域の食」と意識して、高品質な生育のためハウス内には換気システムを導入。収穫前は鮮度を保持するため遮光シートを全面に張るなど、労力と研究を惜しみません。また、2021年より市民農園を中心とした教育ファーム「サイエンスふぁーむ」を開業。2026年からは農業と教育を融合し、地域貢献につなげていく新事業に発展させ、さらなる飛躍を目指しています。

## DATA

所在地	〒675-1233 加古川市平荘町池尻304番地	
TEL	079-441-7935	
FAX	079-244-1281	
HP	<a href="https://www.lead-to-happiness.com/">https://www.lead-to-happiness.com/</a>	
設立	2014年	
従業員数	パート9人	

## Top Message

### 安心して農業で暮らせる企業体を目指しています

将来的には、食品安全や労働環境、環境保全に配慮し、持続的な生産活動を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランド「グローバルギャップ」を取得したいです。安心して働ける環境づくりに取り組みます。



代表  
都倉 貴博さん



加古郡播磨町

# 兵神機械工業株式会社 兵神ファーム



## 事業内容

水耕栽培装置の製造販売  
自社栽培作物の販売

## おもな作物

ベビーリーフ、ミニセロリ、  
サンチュ、こまつな、クレソ  
ンなど葉物野菜約20種類  
水稲(ミルクイーン)



## こだわりPOINT

農業未経験でも導入できる装置だからこそ、栽培などの相談に答えるサポート体制を徹底しています。また、実績に基づいた確かなデータを提供するため、自社設備で野菜を栽培。2019年、JGAP認証を取得。2020年には自社栽培野菜が兵庫県認証食品に認証されました。



## 新規就農を 目指す人や新規参入法人に好評 低コスト水耕栽培で農業の未来に貢献

船舶用ポンプや油水分離器等の海洋環境製品の専門メーカーとして90年の歴史をもつ「兵神機械工業」。「日本の農業をもっと元気にしたい」との思いから、水(流体)の専門家ならではの技術力を生かした水耕栽培装置を開発。2012年に水耕栽培システム「オンディーネ VH」を製品化しました。初期投資が安く、農業未経験でも安心して導入できる自動管理システムや充実したサポート体制が高く評価され、新規就農者はもちろん、異業種企業からの引合いも増えています。誰でも「安心、安全でキレイな野菜」を生産できるオンディーネによる“魅力あふれる農業”が全国に広がりを見せています。

## DATA

所在地 〒675-0146  
加古郡播磨町北古田1-64  
TEL 079-436-3355  
FAX 079-244-9639  
HP <https://hsn-farm.com/>  
設立 1929年12月(兵神機械工業)  
従業員数 (兵神ファーム)社員15人、パート3人



## Top Message

### チーム一丸となって新たな農業のスタイルを提案

「人間力を高め、信用第一で社会貢献する」という当社の経営理念のもと、産機部では栽培の研究やお客様サポートに日々、取り組んでいます。「営業」「栽培」「組立」と3つの係がありますが、お互い連携しながら農業の情熱あふれるワンチームでがんばっています。自分なりの目標を持って仕事に真摯に向き合い、どんなことにも一生懸命取り組む人を歓迎します。



産機部 部長  
中平 吉男さん



小野市

# 有限会社ジローズデイリーファーム



## 事業内容

乳牛飼育、収乳販売、仔牛販売

## おもな産品

年間およそ2千トンの牛乳を近畿圏の牛乳工場へ出荷しています。安全・安心・高品質な乳生産を心がけています。

## わたしたちの思い

「高品質の牛乳を提供するのは当たり前」という強い思いを持っています。牛が心地よい環境の中で、多くの牛乳が出せるようにAIと人の目で健康管理を徹底しています。

## こだわりPOINT

先進事例の情報を収集し、日本の環境、風土に合うように変換。向上心を持って新しい取り組みにチャレンジしています。特に、気候変動への対策を強化しているところです。

## Staff Interview

未経験からこの仕事についてので、分からないことだらけでしたが、何年もしていくうちに牛たちもなついてくれて牛の体調なども分かるようになってきました。これからも牛たちとの関係を作っていきたいです。

## ロボット搾乳牛舎で牛たちにストレスフリーな環境を

小野市のゴルフ場に囲まれた丘陵地に広がる「ジローズデイリーファーム」。搾乳牛約180頭・育成牛約170頭の牛を愛情たっぷり込めて飼育しています。1971年に現代表の父が酪農経営を始め、2015年に現代表が家業を継ぎました。2019年春には、4,000㎡もの面積で、搾乳、繁殖、をデジタルで管理する新牛舎が本格稼働しました。同社のこだわりとして牛が産まれてから廃用となるまで自社一貫管理にて行い、データを蓄積しています。このため、牛が懐いてくれるのがうれしい自慢です。また近年は、牛たちにとってできる限りストレスがないように、暑熱対策など飼育環境にも力を入れています。

### DATA

所在地 〒675-1312  
小野市栄町467-2  
E-mail info@j-d-f.jp  
HP https://j-d-f.jp/  
設立 2002年  
従業員数 社員4人



## Top Message

### 業界の地位向上とイメージアップで魅力ある酪農を次世代へ

「酪農、畜産などを含む第一次産業の社会的地位の向上」、「畜産業界に対するイメージの改革」、「次世代へ魅力ある酪農経営モデルとなる」、この3つの目標を実現できるように、未来を見据え、日々邁進しています。



代表  
藤原 太一 さん



加西市

# 農事組合法人あぐりーど玉野



## 事業内容

農作物の生産・販売、穀物乾燥調製

## おもな作物

水稻(ヒノヒカリ・きぬむすめ・しきゆたか・山田錦)、小麦、大豆、デントコーン

## わたしたちの思い

“汚れない、暑くない、寒くない”快適環境で働ける、かつ儲かる農業を目指しています。

## こだわりPOINT

最新の栽培方法で、コストを最大限まで抑えた儲かる農業を地域の営農団体に提案しています。お互いが向上することで地域農業を元気にしたい。



## 新技術の導入と低コスト化による 農地経営管理で注目度大

組合員数109戸、経営面積44.5haを有する「あぐりーど玉野」。大型農機(田植え機を除く)を多数保有し、労力と作業時間の軽減による低コスト化により、利益追求型農業を推進しています。全国でも珍しい「ザルビオヘルシーフィールド・フォーリタ」を使用した節水型乾田直播に取組み、作業の半分をコントラクターに委託し効率化・低コスト栽培を実現しています。販売面においても、協力営農組合と連携しスケールメリットを活かした大手米卸と米の価格交渉を行っています。また、(株)神明HDと連携し、農業を低コストで始められるスキームで、新規就農者(担い手)とサービス事業体(コントラクター)の育成も行うなど、企業連携による一歩先行く農事組合法人の動向に注目が集まっています。

### DATA

所在地 〒679-0107  
加西市玉野町1348

TEL 0790-47-0949

FAX 0790-20-7606

E-mail tamanoac@ares.eonet.ne.jp

設立 2010年

従業員数 社員2人、アルバイト2人

### Top Message

**若者が魅力を感じる  
持続可能な農業を目指しています** 代表理事 本玉 和弘さん

将来的には、当営農組合で技術を習得した若者たちに、高齢化の進む営農組合で活躍してもらい、加西市の農業を元気にしていきたいと思っています。加西市内でも土壌の違いで適地適作栽培ができていないことが多々あります。加西市に70ほどある営農組合が一丸となって収益を向上して、やりがいのある農業を若い世代に引き継ぐことが目標です。



加西市

# 株式会社中塚農園



## 事業内容

水稲を中心とした複合経営(黒大豆)

## おもな作物

山田錦を含む酒米を年間100t、酒蔵に直接出荷。食用米同15t、黒大豆同1tをJA等へ出荷しています。

## わたしたちの思い

「地域のためにできること」を一番に考えています。山田町の貴重な財産でもある農地を有効活用しながら、美しい田畑の状態で未来へ引き継ぐことが重大な責務と感じています。

## こだわりPOINT

スマートアシストを導入しています。ほ場の生育状態を衛星画像で確認し、データを解析。生育が遅れている箇所にはドローンで肥料を散布。効率的に優良な作物を生産します。



## 担い手農園と地域住民がお互い協力 風光明媚な農村風景を未来へつなぐ

加西市山田町の丘陵地には緑豊かな農地が広がっています。この田畑を手掛けるのが「株式会社中塚農園」です。水稲25ha、黒大豆2haを栽培しています。「地域の農地を守り、保全し、次世代へ渡す」をモットーとする中塚良行代表が農業をはじめたのは2004年。後継者不在に悩んでいた山田町の住民たちは、中塚代表の考え方に賛同し、農地を託すにあたって、作業場の土地を探したり、水管理を受け持つなど、地域の受け入れ体制を整えてくれました。中塚代表は、山田町の人々の想いをしっかり受け止め、地域農業が持続的に引き継がれるように、経営規模の拡大、従業員数の増加を目指しています。

### DATA

所在地 〒675-2425  
加西市池上町271-2

T E L 0790-45-8020

F A X 0790-45-8021

H P <https://nakatsuka-farm.com/>

設立 2004年(2015年法人化)

従業員数 社員2人、パート2人



### Top Message

#### 働きやすい職場環境を整えて、 後継者を育てます

後継者育成の観点から毎年、農業大学校、農業高等学校の実習生の受け入れを行っています。次世代を担う若者を育てるために働きやすい職場環境を整えています。各種保険を完備し、ボーナス年2回、暑い夏は早朝から昼までの時短勤務、週休2日体制など、独立を目指すスタッフには全力で応援します。



代表取締役  
中塚 良行さん



加東市

# 株式会社玄米家



## 事業内容

穀物、野菜の生産、販売



## おもな作物

水稲は26haで生産量は年間約100t。出荷先は酒造、製茶、飼料メーカーなど。大麦は5haで同約25tを製茶メーカーへ出荷。

## わたしたちの思い

若い世代や社員の子どもの働きたいと思える会社にしていきたい。そのために生産者には安定した価格で仕入れることで貢献、販売面はG-GAP取得をステップにさらに販路を拡大していきます。

## こだわりPOINT

玄米家の経営は、シンプルかつ確がモットー。課題は先延ばしせず、意思決定から実行までは迅速に。あらゆるネットワークを駆使して即時解決にあたっています。



## Staff Interview

宮脇 省平さん(写真左)

2012年に入社し、仕入れ、販売を担当しています。それまではIT企業に勤めていました。玄米家では前職での知識と経験を生かして、農作業や生産・在庫を管理するソフトウェアを自ら開発しました。管理ソフトを使用することで取扱量が大幅に増加。やりがいと責任を感じながらがんばっています。

## 山田錦で全国初のG-GAPを取得 国際基準で地域、県、国の農業を牽引

酒米山田錦の里、加東市に株式会社玄米家(げんまいや)があります。ライスセンターと低温倉庫を運営し、地元農家の生産物も調整、保管。地域生産者と取引先メーカーとの調整をするなど、現場を取り仕切る藤本善仁専務からは、農業の将来を担い地域に貢献していく使命感と強い意志を感じることができます。2018年には世界共通の適正農業規範の認証「グローバルギャップ」を取得。「認証取得により、高品質な兵庫県産山田錦に、さらに「国際基準の安全管理」というアドバンテージを付加できました」と藤本専務。同社の発展とともに信頼性もますます向上しています。

## Top Message

**玄米家は少数精鋭スタッフで、  
地域農業も盛り上げます**

従業員全員が向学心を持ち、経験や勤では補えない知識を学習によって貪欲に吸収しています。それぞれの従業員に担当部署を任せることで、少数精鋭の人材で最大の結果を生み出します。また、地域農業全体が良くなるように、コメ市場の動向や補助金制度、各ほ場に適した品種のアドバイスなど、地域生産者に向けて毎年説明会を開催しています。



専務取締役  
藤本 善仁さん

**DATA**

所在地 〒673-1474  
加東市牧野1871-9

TEL 0795-43-9555

FAX 0795-43-9556

HP 公式Facebook「株式会社玄米家」で検索

設立 2005年

従業員数 社員4人



多可郡多可町

# 株式会社 箸荷(はせがい)牧場



## 事業内容

酪農業、乳製品製造・販売



## おもな産品

1日約11tの牛乳を毎日出荷しています。乳業メーカーによりパックに詰められ、関西圏に出荷されています。一部は近隣にある箸荷牧場の6次産業部門、ジェラートやカフェメニューを提供する「What's poppin(ワッツポッピン)」へ。

## わたしたちの思い

牛たちは私たちのホテルに宿泊しているお客様です。最高の環境で、最高の食事をしていただき、その対価として牛乳をいただいています。

## こだわりPOINT

お客様の声を聞くために、クラウドで管理するシステムを導入しています。なにか異変があれば、スタッフ全員にメールが送信され、すぐに対応ができる体制を整えています。



## 「牛はお客様の精神」と「最高級の環境」の最強コンビで育む優良乳牛

自然豊かな多可町の山間部に株式会社箸荷牧場があります。自由に動き回れるフリーストール牛舎で約500頭の乳牛を飼育。北海道でも約300頭を育成している県下有数のメガファームです。「牛にとって、最高のおもてなしをする5つ星ホテルを目指す」という思いのもと、乳牛を乗せたターンテーブル上で搾乳する「ロータリーパーラー」や牛舎内の環境を整える「ハイブリッド換気システム」、夏場は霧の気化熱で牛舎内温度を下げる「牛舎冷房装置」など、ホスピタリティと愛情を感じる快適環境を整備。牛を家畜と捉えない同社の姿勢は、企業が発展し続ける未来へとしっかり繋がっています。

### DATA

所在地 〒679-1334  
多可郡多可町加美区箸荷899

T E L 0795-36-0281

F A X 0795-36-1390

H P <https://www.hasegai-dairy-farm.jp/>

設立 1966年

従業員数 社員18人



### Top Message

#### 繋がりを大切に成長し続ける企業へ

牧場設立当時から地域の人々との繋がりを大切にし、徐々に経営規模を拡大してきました。現在では、海外での視察を通じ、グローバルな繋がりがもできています。「人と人との繋がりを大切にし、繋がった全ての人たちが笑顔になれる」、そんな企業を目指しています。



代表取締役  
今中 克憲さん



姫路市

# 株式会社グリーンひょうご西



## Staff Interview

浅田 崇一郎さん

兵庫県立農業大学校を卒業、2020年入社。実家は非農家ですが幼い頃から農業に興味があり就職しました。人が生きるために不可欠な食料の生産をすることに魅力を感じています。また、作物の栽培以外に、近年問題となっている耕作放棄地の維持管理作業を行うことで、少しでも地域の農業を守ることができていることに、やりがいを感じています。自然の恵みを浴びながら一緒にがんばりましょう!

## 自らが担い手として地域の農業を守り 自然の恵みを未来につなげる

姫路市北東部の田園が広がる丘陵地帯、JA船津ライスセンター内にある「グリーンひょうご西」。同社は「JA兵庫西」の子会社として、主に地域農業の担い手となる農作業受託事業と農業経営に取り組んでいます。姫路市内だけでも約250の農区がありますが、農地の減少や耕作放棄地の増加、後継者不足に悩む農区も少なくありません。グリーンひょうご西では、耕作困難な農家に代わって農作業を受託（作業面積約50ha）したり、自ら農産物を育てる農業経営（作付面積約80ha）を行っています。社員は栽培スケジュールに合わせ、農機具を携えて受託農地へ出勤。年間を通じて農家に寄り添うサポートをしています。

### 事業内容

農作業の受託、農産物の生産、販売ほか



### おもな作物

作業受託農地・経営農地を合わせて米200t、小麦80tをはじめ、大豆、野菜類を生産。

### わたしたちの思い

地域農業を支えることは元気な地域、豊かな地域づくりにつながります。一人一人が農家さんに寄り添い、「ありがとう」と言われる支援を心掛けています。

### こだわりPOINT

JA専門部署の営農指導員による生産指導や育苗・精米・出荷など、JA兵庫西がもつ技術や設備を最大限に活用したサポートを行っています。



### DATA

所在地	〒679-2101 姫路市船津町5275-10	
T E L	079-232-6711	
F A X	079-232-6710	
H P	<a href="https://www.ja-hyogonishi.or.jp/about/subsidiary/">https://www.ja-hyogonishi.or.jp/about/subsidiary/</a>	
設立	1995年	
従業員数	社員7人	

## Top Message

### 地域農業を守り、 農業で地域を元気にしましょう

当社はJA兵庫西と共に、「地域農業を守る」を基本方針に掲げ、農作業の請負や農地の管理を通じて地域農家の支援を行っています。農家の皆さんから頼りにされ、農業で地域を元気にする。そんな夢と使命感を持った人を歓迎します。



代表取締役  
岡本 直生さん



姫路市

# 株式会社香寺ハーブ・ガーデン



## 事業内容

ハーブの生産、加工、  
関連商品の卸・販売、  
ハーブガーデン・レストランの運営



## おもな作物

ハーブ全般およびそれらを素材とする化粧品。おもに冷凍食品の品質保持剤に活用できる不凍タンパク質など。

## わたしたちの思い

私たちは人と自然の共生を理念に、ハーブを通して世の中の役に立つことを実践します。植物やハーブがもつ力を真摯に研究し、人の健康と幸せに貢献します。

## こだわりPOINT

「高度な研究・開発により、安全・安心な製品は生まれる」を掲げ、大学や企業と積極的に共同研究を重ねています。野菜から抽出した不凍タンパク質の商品化や化粧品の素材開発で成果を上げています。



## Staff Interview

### 田邊 佳弥さん(写真左)

神戸大学農学部卒業。学生時代に聞いた福岡前社長の「バイオ産業論」講義が縁で2016年入社。化粧品の研究開発製造部門を担当しています。少人数なので責任ある仕事を任せてもらっています。ハーブの可能性をさらに研究し、自分が開発した新商品を誕生させたいです。

### 西内 梨乃さん(写真右)

千葉大学園芸学部を卒業し、2019年入社。当社の「人と自然の共生」という理念に共感しました。「且緩々」で接客や配膳、調理補助を担当しています。お客様の喜ぶ顔や感謝の言葉を励みにがんばっています。

## 植物の力ですべての人を「Happy!」に 農業6次産業化の先進として 地域活性化にも貢献

「香寺ハーブ・ガーデン」では、創業当初から一貫して「謙虚に自然から学ぶ」姿勢を貫いています。香寺町のハーブ園のほか、夢前町では約3haの遊休農地を転用してハーブの生産・加工を手掛け、2016年には地元野菜や玄米などを使った食養生レストラン「且緩々(しゃかんかん)」をオープン。ハーブを素材に6次産業化を進めています。また、過疎化で廃校となった同町内の山之内小学校の校舎を活用し、「夢前工場」としてハーブの研究開発、加工場に転用。山之内地区で栽培するカモミールで環境保全と地域活性化に取り組んでいます。

## DATA

所在地 〒679-2155  
姫路市香寺町矢田部689-1  
TEL 079-232-7316  
FAX 079-232-7306  
HP <https://www.koudera-herb.jp/>  
設立 2001年(創業1984年)  
従業員数 社員5人、パート20人



## Top Message

### ハーブで心身ともに健康な社会づくりに貢献 “女性のチカラ”を積極的に活用しています

2022年12月、福岡譲一前社長の後を継ぎ、代表取締役に就任しました。ハーブ化粧品の開発やハーブの加工、食養生レストランの運営などにおいて女性の視点や能力は欠かせません。当社では女性に活躍してもらうために育児休暇や短時間勤務など、事情に応じた雇用・勤務形態で対応し、長く安心して働ける職場づくりに努めています。



代表取締役  
堀内 丈寧さん



姫路市

# 児島園芸有限会社



## 事業内容

ハウス葉物野菜、  
露地野菜の生産、販売



## おもな作物

葉物野菜(ほうれんそう、こまつな、みずななど)、さといも、なす、枝豆、ブロッコリー、セロリなど。ルッコラは大手飲食店チェーンと通年契約栽培。ほかに姫路の伝統野菜(網干メロンなど)も。

## わたしたちの思い

心がけているのは「選ばれる商品づくり」。減り続けている都市型農園を存続、発展させていくことが結果的に将来の食料自給率のアップにつながる、という使命感を持って取り組んでいます。

## こだわりPOINT

取引先やお客様の多様なニーズに答えるため、多品目の野菜づくりに挑戦し続けています。主婦がスーパーや直売所で毎日気軽に買える“普段使いの野菜”を、朝収穫して夕方店頭に並ぶ新鮮さでお届けします。



## Staff Interview

岩崎 早敏さん(写真左)

大学で経営学を学び、2018年入社。当初は営業の仕事を目指していましたが、「手に職をつけたい」「農業の将来を担っていきたい」という思いから地元の農業法人を探し、当社に入社しました。野菜栽培を通じて自分の手で価値を作り上げることにやりがいを感じます。

村山 昂汰朗さん(写真右)

工業高校ではクルマ関係のものづくりに興味がありましたが、縁あって2019年からパートで働いています。気さくで仲のよい雰囲気職場です。作業をやり終えた時や収穫した時の達成感もひとしお。農業のさまざまな体験を積んでいきたいです。

## 生産者と消費者の距離が近いことを強みに「なっば屋こじま」で新鮮・安全・安心な野菜を市民に提供

姫路市南東部、祭りの盛んな「妻鹿(めが)」地区の浜手緑地南側にビニールハウス21棟が立ち並びます。姫路中心部からの通勤圏内に、これだけの規模の都市型農園を経営しているのは「児島園芸」をおいて他に類を見ません。同社では葉物野菜のハウス栽培を中心にやってきましたが、ここでは耕作面積に限界があり、近年では姫路市北西部の林田町に露地栽培を主体に第2農場を経営。生産者と消費者の距離が近いことを強みにニーズに合わせた多品目の野菜を育てています。同社の野菜は、地産地消を掲げ、一定の基準の満たしたものに姫路市が認定する「姫そだち」ブランドばかり。独自ラベル「なっば屋こじま」が貼られた野菜は姫路市民に「安全・安心」と「新鮮なおいしさ」を提供しています。

## DATA

所在地 〒672-8031  
姫路市飾磨区妻鹿1472-3  
TEL&FAX 079-246-2117  
設立 1994年  
従業員数 社員3人、パート4人

## Top Message

スキルを身に付けて、農業で生計を立てていく  
そんな意気込みのある若者を応援します

農業ははじめに取り組めば必ず成果や自身のスキルとなって実を結びます。職業として農業を選択し、生計を立てていくという若者(新規就農者)を歓迎します。栽培指導はもちろん、資材や農地についてもサポートします。将来独立を目指すことも可能ですよ!



代表取締役  
児島 匡さん



姫路市

# 株式会社東原畜産



## 事業内容

養豚業、豚の繁殖全般



## おもな産品

豚(三元豚)を年間約4000頭出荷。そのうち「桃色吐息」となる豚は約300頭。

## わたしたちの思い

「日本一のブランドポークを目指す」という気持ちを持って飼育しています。消費者に真のおいしいものを食べていただくために、人間に必要不可欠な「食」を支える仕事としての誇りと使命感を持っています。

## こだわりPOINT

淡路島(洲本市)に繁殖農場を所有。交配豚を飼育し、出産した子豚を姫路の養豚舎で育てています。



## 飼料のこだわりはもちろん、一番大切なのは清潔でストレスのない飼育環境

桃色吐息とネーミングされた姫路初のブランドポークの生産を2012年からスタート。「姫路ブランドポーク・桃色吐息」は、地元の料理人や消費者に人気の食材に成長しました。原点には、東原社長の養豚に対するこだわりがあります。3品種の豚を交配させてつくられた三元豚の品種選定、独自の飼料、清潔でストレスのない環境づくりなど、手間も費用もかかる飼育にあえてチャレンジ。豚肉に脂がさらりとした上品な味わいと香りを生み出しました。豚は通常よりも30日ほど長く育てられ、「体格が良く、肉質も成熟する」と東原社長。「できることは徹底的にやる。誰がみても立派な豚肉を消費者に届けたい」。東原さんの熱い思いが伝わる養豚舎には、約1000頭の豚たちがスクスクと育っています。

### DATA

所在地	〒670-0811 姫路市野里二本松51
TEL	079-223-5300
FAX	079-223-5307
設立	2010年(創業1953年)
従業員数	社員5人

### Top Message

「また食べたい」と思ってもらえるような良質なものを届けたい

自社ブランド「桃色吐息」の知名度が上がり、「おいしい」という声が直接いただけるのはやりがいにつながります。新たな挑戦は大変なことも多いですが、がんばった分だけ評価が返ってくるので仕事が楽しくなります。一緒に「食」を支える仕事をしましょう。



代表取締役  
東原 聖雲さん



姫路市

# 有限会社藤橋家姫路夢前農園



## 事業内容

養鶏業、鶏卵販売、  
飼料米・食用米の  
生産、販売



## おもな産品

ビタミンEが通常の約3倍もある卵「藤橋家の夢美人」と兵庫県で生産された飼料米をエサとした鶏から生まれる卵「ひょうごの穂々笑実(ほほえみ)」を中心に、年間9,000tを関西一円のスーパーや飲食店へ出荷。

## わたしたちの思い

「笑顔と喜びと活気にあふれ、優れた多くの人々が集い、真に社会に貢献し、食の源である畜産・農林漁業を支え発展させる日本一の創造力みなぎる企業となる」を企業理念としています。

## こだわりPOINT

養鶏場事業部と農業事業部の両方を持つ当社だからこそ実現できる「農業畜産連携の循環型農業」をしています。循環型農業で食の源である第1次産業を支え、発展させていきたいと考えています。



## Staff Interview

唐津 歩歩さん(写真左)

兵庫県立農業大学校を卒業後、2015年入社。鶏の体調管理を担当しています。一羽一羽を目で見て、匂いをかいで、五感による注意深い観察で病気の早期発見に努めています。

岩波 希良々さん(写真右)

兵庫県立農業高等学校から2017年入社。卵をパッキングする機械のオペレーターを担当しています。現場は外国人の実習生も多く、みんな仲良く笑いが絶えない元気な明るい職場です。

## モーツアルトの音色と良質の飼料米で育てる鶏 まるやかな味わいと栄養価の高い卵を生産

中国自動車道夢前スマートICから車で約5分、山々に囲まれた地に「有限会社藤橋家姫路夢前農園」があります。大きな特長は、20万羽の鶏にモーツアルトの音色を聞かせてストレスフリーの環境で育てているところ。採卵、洗卵、消毒、サイズ選別、パック詰めまでをオートメーション化。選別においては、人の目によるチェックも行い、購入者が初めて素手で触るので極めて衛生的に努めています。しかも朝採れた卵はその日のうちに出荷。新鮮で、安全、安心な健康卵を毎日食卓に届けています。また、鶏ふん堆肥による土づくりから育てられる飼料米を鶏のエサにする農業畜産連携によって、環境に優しい循環型農業も実現しています。

## DATA

所在地 〒671-2103  
姫路市夢前町前之庄1627  
TEL 079-336-1505  
FAX 079-336-3820  
HP <https://fujihashiya.com>  
設立 1988年  
従業員数 社員10人、パート22人、外国人実習生10人



## Top Message

笑顔が絶えない働きやすい職場で活躍しませんか？

若者が多く活気ある職場です。一人ひとりがやりがいを持って、笑顔と健康を食卓へお届けできるように最良の卵づくりに取り組んでいます。人間関係が良好で、関連会社の若い社員と情報交換をしたり、活動を一緒にすることも多々あります。



GPセンター長  
森本 晃平さん



姫路市

# 有限会社夢前夢工房



## 事業内容

農産物の生産・加工・販売、  
農業体験・農業研修、食育活動、  
レストラン運営、講演活動



## おもな作物

「ひょうご推奨ブランド」認定のびかまる等水稲や大豆、たまねぎ、じゃがいもなどの野菜を栽培しています。

## わたしたちの思い

地域の環境と人々の健康を守るため、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいます。「地産地消 新鮮なものを食卓へ」を目標とした「地域密着型農業」を進めています。

## こだわりPOINT

農地を次の世代に残す責任があると考え、若手の育成にも力を入れています。これまで10名以上がここで研修を終え、独立したり家業を継いだりしています。



## 無農薬栽培にいち早く着手 新しい農業のかたちを実践する

姫路駅から北へ車で25分、清流夢前川の両岸に農地が広がります。夢前夢工房は「安心して食べられる米や野菜を作りたい」と考えた衣笠愛之さんが1994年に設立。無農薬栽培に取り組む農家が全体の2~3%という時代に独学を重ね試行錯誤を繰り返し、米、小麦、野菜と徐々に種類を増やしていきました。1999年に法人化。日々の農作業のほか農業体験施設「夢やかた」の経営、とうもろこしやゆめさき苺の収穫体験事業も実施。直売所「夢街道 farm67」でゆめさき苺を使った「ドデカ苺パフェ」を提供するなど、農業の6次産業化も進めています。

### DATA

所在地 〒671-2121  
姫路市夢前町宮置909-1  
TEL 079-335-1411  
FAX 079-335-1036  
HP <http://y-yumekoubou.net>  
設立 1999年  
従業員数 社員18人



## Top Message

新しい農業に対応できる  
柔軟な人材を育てたい

夢工房周辺の農地では、数年前から大区画化の農地整理に取組み、現在では県内で最先端の農地になっています。ICTやAIを利用した新しい農業が始まっており、社員の休日を増やす等、福利厚生にも取り組んでいます。



代表取締役  
衣笠 愛之さん



神崎郡市川町

# 有限会社環境微生物研究所



## 事業内容

農産物の生産、販売

## おもな作物

水稲を中心に、主食米・加工米・酒米・もち(加工)など様々なニーズに対応できるように多種多様な品種を栽培しています。水稲育苗も受託で請負、乾燥調製など一貫した作業を行っています。冬季期間は、キャベツ、ブロッコリーを中心に直売所へ販売しています。

## わたしたちの思い

地域農業の担い手として、安心して任せてもらえる法人を目指しています。県内外の先進地域への研修に参加し、常に情報発信の場として地域の担い手と共有しながら地域農業の発展と、持続可能な農業に取り組んでいます。

## こだわりPOINT

加工施設「ひまわり工房」で、6次産業として自社で作ったお米・野菜を使ったお弁当や惣菜を加工販売しています。地域の老人会、各種団体等に提供するなど、地域活性化に貢献しています。



## Staff Interview

長尾 幸汰さん

高校卒業後、最初の勤務地では自分の強みを活かすづらい環境であり、思い悩んでいたところ、村の寄合で村田社長と出会いました。内情を相談し、地域農業の現状や今後の動向などを知りました。農業に興味を持ったことから思い切って転職しました。初めての経験ばかりですが、定植した作物を収穫した時は、達成感があふれてきます。

## 世代交代で新たな地域農業への発展とAIを活用した農業を目指していく

1999年の法人設立当初、村田敏朗会長は自然界に存在する微生物を利用して環境に優しい農業を実践しようと、法人名を「環境微生物研究所」と名付けました。村田匡謙さんは、会長の意思を継ぐべく2025年5月、代表取締役に就任。近年の異常気象により、従来の経験則に基づく農業は限界を迎えつつある中、環境微生物研究所ではAIと人工衛星を組み合わせたスマート農業技術に注目し、人・機械稼働の効率化、適期の防除および追肥管理が可能となりました。村田匡謙代表は、AIを活用しながら安全安心な作物生産と環境にやさしい農法を実践し、地域農業の未来を守っていく方針を掲げています。

### DATA

所在地	〒679-2327 神崎郡市川町近平59
TEL	0790-26-2879
FAX	0790-26-1211
設立	1999年
従業員数	社員3人、パート2人

## Top Message

### 常にチャレンジしていける人材を求めています

私は6年前にクボタアグリサービスを退職し、農業を機械でサポートする立場から生産する立場へと変わりました。なんとなく生産現場は知っていましたが、栽培管理作業と収穫作業は重労働であると肌で感じました。また、近年の夏の高温化は水稲にも大きな影響を与えています。世界的に見ても食糧危機が迫るといわれる中、私たち1次産業が重要なのは必然です。日本農業は衰退といわれる今こそチャンスとして、日本の食を守り、これから農業へ挑戦する人と共に築き成長していく会社を目指していきます。



代表取締役  
村田 匡謙さん